

子どもの姿	ねらい	行事	長時間保育	地域との関わり	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのことを自分で出来ることが増え、困った時に保育者に伝えるようになってきた。 友達同士の遊びの中でのトラブルでは言葉による解決を自分たちで行おうとする姿が見られる。 手先を使った遊びを、楽しんでいる。 片付けを協力して行い上手になってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 冬の訪れを感じながら、体を動かして寒さに負けず元気に遊ぶ。 友だちとの楽しい時間を共有する。 年越し等、季節を感じながら過ごす。 	<p>英語で遊ぼう 日</p> <p>おはなし会 21日</p> <p>幼児集会 25日</p> <p>避難訓練</p> <p>個人面談 17日</p> <p>20~26日</p>	<ul style="list-style-type: none"> 気温が一段と下がるので衣服や室温、湿度の調整に気を配る。 甘えや寂しさに寄り添いながら一緒に遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 戸外活動時に挨拶を交わしたり、公園で出会ったお子さんと遊具の共有をしたりしながら一緒に遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝・夕の気温差に留意しながら、衣類の調節や室内の温度などに気を配り、快適に過ごせる様にした。 天気予報を参考にしながら予定を組み、天気の良い時は早めに出発にして遠い公園まででかける等、日々の活動の工夫をした。 行事の装飾や制作など手先を使い、作ったり出来上がったりする達成感を味わうことができた。来月も日本古来のものを取り入れていきたい。 食事が意欲的に食べられる様になってきたので、今後は時間を決めて自分のペースで食べて達成感を味わえるようにしていく。
内容	環境構成	保育士の配慮		取り組みの状況と保育士の振り返り	
<p>養護(生・情)教育(健・人・環・言・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症の予防の為、手洗いやうがい、衣服を調節する大切さを知らせていく。 一人一人の表現や行動を認めたり励ましたりしながら頑張る気持ちを育てる。 身の回りのことを自分で行う。 自分の体に関心を持ち、体調の変化に気付いたり清潔に保とうとしたりする。 自分の役割が分かり、人と関わろうとする。 相手の気持ちを分かろうとする。(保育者や友達に思ったことを伝える) 冬の自然を楽しむ。 この時期ならではの雰囲気や行事に楽しんで参加し、行事の意味を知る。 行事に合った挨拶を知り、言葉を交わす。 絵本に親しみながら言葉の伝達を楽しむ。 人前で自分の思いを言葉で伝えようとする。 年末の掃除など、1年の終わりを意識して過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗いうがいの習慣が身に付くように絵本やポスターなどで知らせていく。 厚着、薄着の子どもは衣服を調整していく。 楽しみながらも、みんなの前で表現が出来るように、繰り返し行っていく。 持ち物の場所を分かりやすいようにマークなどを用いる。 空調や換気を意識的に行う。 ごっこ遊びや手伝いなど役割のあるものを取り入れる。 気持ちのやり取りを振り返る時間を設ける。 戸外に出て自然現象の観察をする。 行事に参加したり、絵本を用意したりする。 絵本を見やすく、手に取り易く配置、掲示する。 発表する場を設け、使える言葉を提供し、見本を見せる。 イメージが膨らむ様に、商店街やビジネスパークなど、街の装飾や音楽などを見学する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者も一緒に行う事で見本となり自分でできることを増やし、できないことを援助していく。 気温の変化に気付くように声をかける。 頑張ったことを認め、できた達成感や喜びを感じられるようにする。 できない部分を受け止めると共に援助し、自分でできた時は認めて達成感が持てるようにする。 気温や湿度などの変化に注意を促し状況に気付けさせる。 役割を果たした達成感や誰かの役に立つことの心地よさを感じられるようにする。 自分の気持ちと人の気持ちが分かるように丁寧に伝える。 霜や氷などの自然現象と一緒に見つけ子どもの感動に共感する。 年の区切りに行事があることを伝える。 場面に合った言葉が使えるよう伝える。 少しずつ人前での発言に慣れるようにしていき自信が持てるように援助していく。 冬の装飾や制作を取り入れながら、季節を感じる機会を作り、行事や年越しを楽しみにできる様にする。 		<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの事が自分で出来るようになり、着替えではファスナーやボタンも自分でやろうとする姿が見られていた。 戸外から帰った時は、手洗いやうがいだけでなくうがいもする様に促し、保育士も一緒に行って意識が高まる様に配慮した。 入室時の順番など、混雑せずにゆっくりできる様に、今後も配慮していく。 順番にこだわらず、身支度などきちんとできる事を重視して指導をした。丁寧にできる様に一人ひとりに声をかけて留め得る様にうながしていく。 布団を敷いたり、カバーを外すなど、時間のある時にはゆっくり教える事でできる子が増えてきている。自分でできた事を喜び、今後の自信に繋げていきたい。 相手の気持ちを考えたり、順番を守ったり、交代する等遊びの中で楽しく展開できる様に必要に応じて保育士が仲立ちになった。 戸外に出る機会を多く取り入れる様にして、季節をたくさん感じられる様にした。冬の遊びを多く取り入れ、楽しんでいく。 クリスマスや年末に向けて、歌や制作などを行いクラス内でも雰囲気を楽しむことができた。新年の歌も意味を伝えながら、歌っていく。 絵本の読み聞かせは、集中してじっくりきける様になり、友だち同士と一緒に見る姿もみられた。 保育室の掃除や道具箱の片付けなどを行い、1年の閉めくくりを感じる事ができた。自分の使うものの意識を高めていける様に今後も声をかけていく。 	
<p>食育</p> <ul style="list-style-type: none"> 少しずつ自分で食べられる量を把握して配膳や盛り付けをしてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> 配膳時間を十分にとり、配膳場所や盛り付けの順番など、慌てないで出来る様にスペース等も含めて環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちのペースを尊重しながらも、時間配分に気を配り、クラス全体でおいしく食べる雰囲気を作る。 		<ul style="list-style-type: none"> 配膳や時間などを意識した事で、全員が完食できる日が多くなった。食べられた事を喜び、嬉しそうに話している子が多く、野菜嫌いが克服できている。 	